



とっとり 県政だより

Tottori Prefectural Newsletter

2023 4

特集 P2

豊かな森をつくる

～県民の力で次代へ継承～

P5・6 県政トピックス

- 子育て支援がさらに充実
- 山陰近畿道「岩美道路」全線開通
- 公金納付がさらに便利に

DATA

県人口/541,775人
(男 259,168人、女 282,607人)
世帯数/221,260世帯
(2023年2月1日現在推計)

県からの
お知らせ

4月9日は統一地方選挙の投票日です

鳥取県知事選挙及び県議会議員一般選挙の投票が4月9日(日)に行われます。当日都合の悪いかたは、選挙人名簿に登録されている市町村選挙管理委員会の期日前投票所で、期日前投票を活用ください。



【期日前投票の期間】

知事選：3月24日(金)～4月8日(土)

県議選：4月 1日(土)～4月8日(土)

問 県選挙管理委員会

☎0857-26-7058 F 0857-26-8129

<https://www.pref.tottori.lg.jp/309036.htm>



皆伐した後に苗木を植樹した森のようちえん・風りんりの子どもたち。
森を守る活動を通して、ふるさとを大切にできる心が育まれる(鳥取市福部町)



@tottoripref



@tottori_kouhou



@tottori.pref.kouhou

豊かな森をつくる

県民の力で次代へ継承

多様な役割担う森林

森林は▽水を蓄え洪水を防止する▽土砂災害を食い止める▽二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止する▽動植物の生息・生育の場▽人の心をリラックスさせる―など、多様な役割を担っています。これらの大切な機能を保全するために森林整備は大変重要ですが、林業の採算性の悪化や担い手不足で十分な森の手入れができていない現状がありました。

このため、県では2005年度から、森林環境保全税を設けて間伐や森づくり活動などを支援してきました。昨年度末で同税の適用期間が終了したことから、同等の負担で「豊かな森づくり協働税」を創設し、より県民がかかわりながら森の保全と育成を進めることを目指します。

新しい税の活用策として、収穫時期を迎えた人工林を伐採して森の若返りを図る皆伐再造林や、地域

住民やNPOによる里山保全、子どもたちへの森林環境教育などがあります。今ある自然に触れ、その役割を理解することが、より豊かな地域づくりにつながっていきます。

● 納税義務者

個人	1月1日現在に県内に住所・家屋などを有する者 ※前年の所得が一定額以下のかた、生活保護を受給しているかたは課税されません。
法人	県内に事務所、事業所などを有する法人など

● 納める額

個人	年500円 ※令和5年度から令和9年度まで適用されます。
法人	法人県民税均等割の5% (年間の金額) ※令和5年4月1日から令和10年3月31日に開始する事業年度に適用されます。

豊かな森づくり協働税の概要

鳥取県の面積の約7割を占める森は、防災や環境保全に重要な役割を担っています。さらなる森づくりの推進に向けて県は4月から、「豊かな森づくり協働税」を新設。森の若返りや県民参加による里山保全など、新たな取り組みで森の機能を守り育てます。

智頭町のスギ林

皆伐再造林で若返りや花粉対策

森林は林齢（森林の年齢）が若いほど二酸化炭素の吸収量が高く、16年から25年をピークに、徐々に下がっていきます。健全な森の機能を保つためには「伐（き）って、使って、植えて、育てる」というサイクルを守る事が大切です。

県内では戦後大量に植林が行われ、その半分以上が50年以上経過して収穫可能な時期を迎えたことから、成長途中の木を間引き、残った木の成長を促す「間伐」を推進してきました。今後は間伐と並行し、伐採して新たな木を植えることで森を若返らせる「皆伐再造林」に取り組みます。

同じ面積で比較すると、皆伐で

生産できる木材は間伐の約5倍。県産材の安定供給につながり、県内の木材需要に占める県産材の割合を高めることが期待されています。新たに植林するのは、主にエリートツリーと呼ばれる成長が早いスギ、ヒノキやコウヨウゼンなどの早生樹。最も過酷な作業である下草刈りの作業期間が短くて済みま

す。収穫期はこれまでより大幅に短縮されると見込まれ、木材としての性能も遜色ありません。また、エリートツリーの花粉量は一般的なスギ、ヒノキの半分以上。花粉は樹齢の高い木から多く飛散されるため、森の若返りを図ることが花粉対策にもつながります。

循環を大切に 健全な森をつくる

鳥取県東部森林組合
代表理事組合長

しまざわ かずゆき
嶋沢 和幸さん



「皆伐には負のイメージがあるかもしれないが、皆伐再造林は森を守るために大切な取り組み。多くのかたに知ってもらいたい」と嶋沢さん。皆伐エリアは土砂流出の危険性が少なく比較的傾斜が緩やかで、林齢60年以上の人工林を選定。今年度は約50㍉を皆伐再造林する計画です。

成長の早い苗木の植栽が進めば、低コストで健全な森を保つことが可能になります。近年は若い林業従事者も増加しており、嶋沢さんは「伐って、使って、植えて、育てるという循環を大切にすることで、森林を次世代に引き継ぐことができる」と期待を寄せています。

豊かな森づくり協働税で取り組む事業

豊かな森と里山を次代へ継承

皆伐再造林、シカ対策の強化

皆伐再造林の推進、エリートツリー・早生樹の造林推進、シカ柵の管理・撤去の支援

松くい虫、ナラ枯れ対策

ナラ林の若返り支援、危険な枯れ木などの除去、松くい虫被害を受けた海岸松林への植栽

皆伐再造林を推進する基盤整備

皆伐に向けた健全な森づくり（間伐・作業道整備）の支援

集落周辺の災害防止につながる竹林対策

集落等周辺での竹林整備（適正管理）の支援、人工林への転換に向けた植樹などの支援



県民の参画と協働で森づくりを推進

協働による持続可能な里山保全

地域住民・NPO・森林組合などの林業事業者による里山再生の支援

森づくりへの県民参加の推進

NPOなどによる森林体験活動などの支援

幅広い世代への森を守り育てる機運づくり

若年層への森林環境教育（出前授業）の支援、森づくりの普及啓発



県民参画で里山を保全

里山(人里に近い山林)では、かつては薪を集めるため、住民による定期的な伐採が行われていました。しかし、1950年代以降は薪を燃料に使うこともなくなり、放置された状態が続いて荒廃が進んでいる里山が少なくありません。

過疎・高齢化により里山の手入れ

れが難しくなっている地域が多いことから、県では地域住民やNPO、林業事業者などが連携しながら計画づくりや整備を進める、持続可能な里山保全の支援を始めます。

樹木の伐採や歩道の設置などの危険が伴う作業は専門技術を持った森林組合などが協力し、住民は自分たちでできることを担当。幼稚園や小学校の子どもたちが里山に

入り、エリートツリーや早生樹、広葉樹の苗を植樹するなど、森林環境学習にも今後いっそう力を入れていきます。

若い世代が森に親しむことが森づくりの第一歩。5月には鳥取県植樹祭も開催されます。森の魅力を見直し、自分に何ができるか考えてみることで、県民の大切な財産である森を守ることにつながります。



木育サポート
森のきこりん
(琴浦町)

代表 **木山 美佐枝さん**(右)
副代表 **森下 義雄さん**

森林や木の大切さを伝える

木育とは、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みのこと。県民有志による「木育サポート 森のきこりん」は、乳幼児の木のおもちゃを使った遊びの推奨や学校などでの木育授業、絵本作成などを通して、木の魅力や森の大切さを伝えています。

昨年10月には大山で植樹や森林教室を盛り込んだイベント「みんなと『ぐるぐる』つながっている森」を「大山ブナを育成する会」と協力して開催しました。小学生から大人まで約70人がブナの苗木30本を植樹。森林教室では、ブナ林を散策しながら森が果たしている役割について専門家の話に耳を傾けました。参加者からは「森を見る目が変わった」「木を守り育てることの大切さを感じた」などの感想が寄せられました。

「子どもたちが山に植えた木に思いを寄せることが、ふるさとを思う気持ちにもつながってくる」と木山さん。森下さんは「豊かな自然があり生態系は循環している。環境のために何ができるか考え実行してほしい」と活動への思いを語りました。



専門家の解説を聞きながら森を散策する参加者。昨年10月、大山の健康の森

森林の保全活用に関すること

岡山県森林づくり推進課

☎0857-267335

F0857-268192

✉moridukuri@pref.tottori.lg.jp

豊かな森づくり協働税に関すること

岡山県事務課

☎0857-267053

F0857-267087

✉zeimu@pref.tottori.lg.jp

第67回

鳥取県植樹祭

5月13日(土) 午前10時～午後2時

場所:岩美町大谷

- 式典・代表植樹会場/大谷海岸広場
- 参加者植樹会場/蒲生川沿い斜面

美しいもりづくり功労者の表彰

地元特産品の販売

植樹祭テーマ表彰

自然体験イベント(木工など)

森林・みどりへの想い発表

海を育てる森づくり見学会

参加者植樹

<https://www.pref.tottori.lg.jp/289607.htm>



ヤマボウシ・コムラサキシキブなど

苗木の無料配布
(先着250人)



子どもの育ち アプリで応援 ～子育て支援がさらに充実～

子育て王国アプリ スタート



○子育て応援パスポートがもっと便利に

- 子育て応援パスポートが電子化され、紙カードからアプリに。画面にパスポートを表示することでサービスを受けられます
- 地域やサービス内容などに応じた協賛店舗の検索やマップ表示もスムーズ。施設のバリアフリー対応状況も確認できます

○役立つ情報を配信

- イベントのお知らせや健診・予防接種の情報など、お住まいの地域や子どもの年齢などにマッチした情報を受け取れます

○いつでも気軽に相談

- 子育てに関するよくある質問に、Q&Aでいつでも回答します



子育て王国アプリはこちらのウェブページからダウンロードできます。



<https://www.pref.tottori.lg.jp/309580.htm>

県は、子育て家庭を地域全体でサポートし、育児に役立つさまざまな情報を発信する「子育て王国アプリ」の運用を始めました。

アプリには、協賛店舗で割引やポイント加算などのサービスが受けられる「とっとり子育て応援パスポート」を電子化して搭載。これまで紙のカードを持ち歩いて利用していたサービスを、スマートフォン画面提示で利用することができます。店

舗情報の検索や地図表示といった新しい機能も加わり、より使いやすいシステムへと生まれ変わりました。さらに、お住まいの地域に応じた情報の配信や子育てに関する疑問を相談できるAIチャットボット（自動会話プログラム）など、役立つ機能も充実。これ一つで育児がもっと安心・便利になる多機能アプリです。

4月1日には、国の子ども施策をリードする新しい組織「こ

ども家庭庁」が発足。県でも、保育所の人員体制の充実や高校通学費助成の拡大などを進め、結婚から妊娠・出産、子育て期を通じた切れ目のない支援を一層強化していきます。また、ヤングケアラー支援や子どもの権利を守るアドボカシーの取り組みなども推進。あらゆる環境に置かれた子どもたちに光をあて、誰一人取り残すことなく、健やかな育ちを支えていきます。

子どもと子育て世代へのサポートを拡大

結婚

とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」が、市町村や企業・団体と連携して、出会いの機会を広げます



育児

• 育児に不安や負担を抱える家庭をアウトリーチで支援します
• 保育士の人員増加など保育環境の充実を進めます



子どもの権利擁護

施設入所など社会的養護を受ける子どもの意見を代弁し、その心や権利を守る「鳥取県版アドボカシー」を本格実施します。

支援員「アドボキット」が子どもに寄り添い、意見を代弁します



妊娠・出産

市町村と連携し、妊娠期からの相談支援と合わせて、出産等の経済的負担を軽減する交付金10万円を支給します



教育

• 高校生の通学費支援を広げます
• 県内に就職する学生に向けた奨学金返還助成制度の対象職種を拡充します

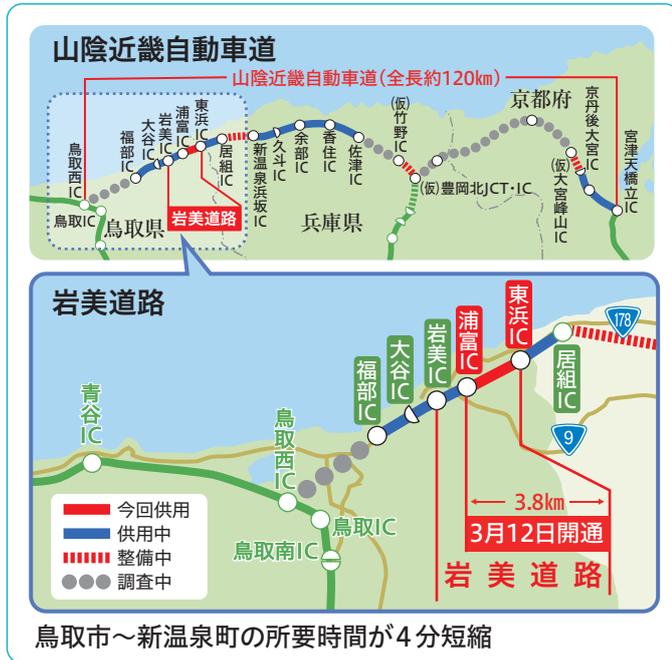


▶▶ 問 県庁子育て王国課

☎0857-26-7147 📠0857-26-7863 ✉kosodate@pref.tottori.lg.jp



地域がつながり、もっと便利に ～山陰近畿道「岩美道路」全線開通～



▶ 問 県庁道路建設課
 ☎0857-26-7360 F 0857-26-7624
 ✉ dourokensetsu@pref.tottori.lg.jp
<https://www.pref.tottori.lg.jp/210803.htm>

鳥取・兵庫・京都の3府県を結ぶ高規格道路ネットワークとして整備が進む「山陰近畿自動車道」。その一部を構成する「岩美道路」が、3月12日に全線開通しました。地域活性化への大きな効果が期待されています。

今回開通したのは浦富ICから東浜ICまでの区間。これによって、鳥取市と兵庫県新温泉町が1本の自動車専用道路でつながりました。移動時間の短縮はもちろん、沿線には「山陰海岸ジオパーク」エリアの見所が満載。兵庫県北部から鳥取砂丘・浦富海岸などの主要観光地へのアクセスが向上し、さらなる観光振興が見込まれています。また、大規模災害の発生時には緊急輸送道路としても機能するなど、地域の安心・安全な暮らしを守ります。

人や経済の交流を支え、賑わいと活力を生み出す岩美道路。日々の生活や旅行・ドライブなどで利用し、利便さ、快適さを体感してみませんか。

スマートフォンで簡単支払い ～公金納付がさらに便利に～

利用できる決済アプリ

PayPay	利用可能
LINE Pay	
J-Coin Pay	
au PAY	4月から利用可能!
d払い	

- 納付上限額は30万円です
- 領収証や納税証明書は発行されません。必要に応じてアプリの納付履歴をご利用ください
- 奨学金の返還金など一部対象外の納付金については、バーコードが印字されていてもアプリでの納付はできません
- 口座振替による納付を行っている場合は利用できません
- ※利用方法の詳細は、各アプリの案内ページをご覧ください

鳥取県収入証紙の払い戻しについて
<https://www.pref.tottori.lg.jp/296529.htm>

▶ 問 県庁会計指導課
 ☎0857-26-7437 F 0857-26-8147
 ✉ kaikeshidou@pref.tottori.lg.jp
<https://www.pref.tottori.lg.jp/suitou/>

新しい年度が始まり、さまざまな行政手続きや公金支払いの機会も増える4月。県では、公金の支払いに利用できるスマートフォン決済アプリの種類が拡大し、さらに便利になりました。

対象となるのは、バーコードが印字されている納入通知書で支払う公金。県税(自動車税・個人事業税・不動産取得税のみ)や県立高校授業料、県営住宅家賃、各種使用料などが該当します。アプリを起動して

新しい年度が始まり、さまざまな行政手続きや公金支払いの機会も増える4月。県では、公金の支払いに利用できるスマートフォン決済アプリの種類が拡大し、さらに便利になりました。

対象となるのは、バーコードが印字されている納入通知書で支払う公金。県税(自動車税・個人事業税・不動産取得税のみ)や県立高校授業料、県営住宅家賃、各種使用料などが該当します。アプリを起動して

バーコードを読み取れば、いつでもどこでも支払いが可能。手続きのために金融機関やコンビニへ出向く必要がないので、「忙しくて、行く時間がなかった」という納付漏れも防げます。

なお、従来一部の手数料納付で使用されていた「鳥取県収入証紙」は、令和4年3月末で取り扱いを終了しています。未使用の証紙は、左記ウェブページを確認の上、令和8年9月末までに還付手続きをお願いします。



手話を覚えてみよう▶▶「募金する」



両手2指の輪を、左右やや上から胸前へ同時に寄せる動作を繰り返す

緑豊かで潤いのある社会実現のため、5月末まで緑の募金活動が行われています。街頭や学校、職場などでの呼び掛けに、ご協力をお願いします。

令和4年度は20,518,888円の善意が寄せられました。地域へのサクラやクロマツ、ブナなど苗の植樹や、保育園や小中学校の緑化推進、みどりの少年団の活動などに使われ、身近な環境の緑化と人づくりに活用されています。

<http://www.tottori-green.or.jp/bokin/index.html>



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

☎0859-30-3720 F 0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



読者の声

(2月号の意見・感想から)

- 誰一人取り残さない社会づくりのために私もできることを考え、近所や地域のかたとの関わりを大事にしていきたいです。(10代)
- スポーツは苦手ですが、何歳になっても楽しめるというバウンズボールはやってみたいと思いました。(80代)
- 起業する人が多くなっている今、ネクスト・イノベーター・サミットは将来についての視野を広げる良い機会だと思いました。(30代)
- 入浴中に命を落とす人が交通事故の4倍以上と知り驚いた。入浴時は声を掛けることを意識したい。(40代)
- ヘルシー豆腐グラタンはヘルシーなのに食べごたえあり。今度は孫たちに腕を振るおうと思います。(70代)



2月号には1,240人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



県産品プレゼント

鳥取ご当地ラーメン「牛骨ラーメンいのよし」(3人前)【5名】

長年愛されてきた「牛骨ラーメン」は、牛の骨でスープのだしを取る県中部のご当地グルメ。地元の人気有名店の味が、家庭で手軽に楽しめます。牛のうまみとこくがしっかり詰まったスープがちぢれ麺によく絡み、一度食べると癖になる味わいです。



☎ ラーメンいのよし(倉吉市海田西町) ☎ 0858-24-5549



山陰近畿自動車道の一部で、3月12日に全線開通した「〇〇道路」。〇に入るのは次のうちどれでしょう

ヒントは6頁

①智頭 ②若桜 ③岩美

【応募方法】

クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

■ 応募締め切り 4月20日(木)必着



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブページ応募フォーム <https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>

◎3月号のクイズの答えは「②MaaS」でした。

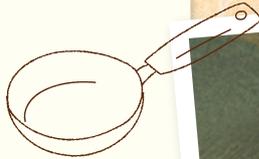


【材料】(60個分)

- 牛乳.....600ml
- 生クリーム.....200ml
- グラニュー糖.....50g
- はちみつ.....50g

【作り方】

- ①牛乳、生クリーム、グラニュー糖、はちみつをフライパンに入れ、強火でかき混ぜブツブツと沸騰してきたら弱火にする。
- ②強火、弱火を繰り返して40～50分かき混ぜる。(沸騰してきたら弱火にする)
- ③トロトロに煮詰まってフライパンから離れやすくなってきたら、クッキングシートを敷いたバットに流し入れる。粗熱をとってから冷蔵庫で冷やし固め、ナイフで切り分ける。



きな粉やコーヒー、黒ごま、ブランデーなどでアレンジもできます!



生キャラメル

【協力】大山乳業農業協同組合

県からのお知らせ

一人で悩まずSNSで相談を

進級・進学や就職・転勤など、新しい生活が始まる4月は、環境の変化に伴う不安やストレスで、気持ち不安定になりやすい時期です。悩みや苦しみは一人で抱え込まず、LINEで相談してみませんか。プライバシーは厳守。専門の相談員がどんな悩みにも親身に対応します。

- 相談日 / 月・水・金曜日、第2・第4土曜日
※4/6～4/8、5/8～5/10は毎日受け付けます
- 時間 / 午後5時から午後9時まで

QRコードからLINEの友だち登録をしてね!



@tottorisns

☎ 0857-26-7769
☎ 0857-26-8726

4/2 世界自閉症啓発デー

4/2～8 発達障害啓発週間

脳機能の発達のアンバランスさによって、学習や行動、社会生活に困難が生じる発達障がい。それぞれの特性に応じた過ごし方の工夫や周囲の適切なサポートによって日常生活の困り感が軽減され、一人一人の能力を発揮しやすくなります。誰もが自分らしく生き生きと暮らせる社会のために、ぜひ発達障がいへの理解を深めてください。

ブルーライトアップ(4/2～8)

鳥取駅前バード・ハット、鳥取駅前風紋広場、米子コンベンションセンターを「希望」や「癒し」を表す青い光で照らします

☎ 県庁子ども発達支援課

☎0857-26-7865 ☎0857-26-8136

https://www.pref.tottori.lg.jp/101077.htm



厚生労働省鳥取労働局委託事業 「高齢者活躍人材確保育成事業」

【広告】

あなたのライフスタイルに合った仕事があります。

60歳以上のあなたが主役!!

シルバー人材センター

会員募集中!!



女性大歓迎!!

入会申込、お問合せは
あなたの町のシルバー人材センターへ

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会
TEL.0859-37-2531 FAX.0859-37-2537

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地
URL https://www.torisilver-ren.com



※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。